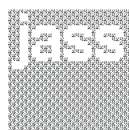


今日の世界においてテレビが人びとの生活に大きな影響を与えているメディアであることはいうまでもありません。テレビ放送開始から半世紀をへて、テレビは技術的にも文化的にも制度的にも極めて大きな変化を現在迎つつあります。一方、私たちは、テレビの記号技術を十全に説明し、その記号過程を研究し、メディア社会の意味批判を遂行するための「記号の知」のパラダイムを持ちてきたでしょうか。「社会生活のなかの記号の生活」を研究する記号学にとって、テレビの記号論はもっとも重要な今日的課題の一つといえるのです。記号学の横断的な知からメディア批判へとどのようにいたるのか、「テレビ記号論」の可能性を熱く討議する機会を持ちたいと思います。

日本記号学会第26回大会実行委員会



記号としてのテレビ



日本記号学会第26回大会

5月13日(土)

11:00 受付開始
11:30-12:30 理事会・編集委員会
12:30 開会の辞
12:30-13:00 総会

18号館ホール

オープニング討議 「テレビ記号論とは何か」(日本語/フランス語 同時通訳付)

導入報告 石田英敬(東京大学)
基調報告 フランソワ・ジョスト François JOST(パリ第三大学)
朴明珍 PARK Myung-Jin(ソウル大学)
討議 原由美子(NHK放送文化研究所)、小林直毅(県立長崎シーボルト大学)

ラウンドテーブル1 「テレビ・コンテンツ研究の現在」

パネリスト 増澤洋一(千葉工業大学)、原宏之(明治学院大学)
和田伸一郎(大阪医科大学)
司会 水島久光(東海大学)

18:40 懇親会



京王井の頭線「駒場東大前」駅下車

5月14日(日)

9:30 受付開始

分科会1 18号館4階分科会場1

司会 吉岡洋
10:00 井堀節子
「『テレビが構築した嘘のイメージ』について」
10:30 乗立雄輝
「メディアにおける(タイプ/トークン)の形而上学
—「ここ、いま」のタイプ化とその逸脱—」
11:00 李春喜
「テレビコマーシャルに見る日米比較」
11:30 江川晃
「TVメディア・バーチャルリアリティ・記号論」

分科会2 18号館4階分科会場2

司会 菅野盾樹
10:00 杉本章吾
「岡崎京子『リバーズ・エッジ』にみる二項性とその解体」
10:30 平塚弘明
「エドワード・スタイケン
のファッション写真における虚構性」
11:00 椋本輔
「パーソナルコンピューター文化の
意義と今後の展望について」
11:30 上尾真道
「ヒステリー的スペクタクルにおける〈欲動〉の問題」

分科会3 18号館4階分科会場3

司会 立花義遠
10:30 奥聡一郎
「記号学教育の実践としての映画記号論」
11:00 川間哲夫
「デザインのための記号論用語研究の展開」
11:30 木戸敏郎
「月の形象—失われた月壇の記号学的復元—」

12:30-13:20 理事会・編集委員会

18号館ホール

ラウンドテーブル2 「記号技術としてのテレビ」

パネリスト 川森雅仁(NTTサイバーソリューション研究所)、林正樹(NHK放送技術研究所)
佐野徹(日本テレビ)
司会 境真理子(江戸川大学)

ダイアログ 「記録と記憶/ドキュメンタリーとテレビの情報空間」

「ヒロシマ」を巡る諸問題
報告 水島久光、西兼志(東京大学)
討議 桜井均(NHKエグゼクティブ・プロデューサー)、金平茂紀(TBS報道局長)
港千尋(多摩美術大学)
コーディネーター 石田英敬

ラウンドテーブル2「記号技術としてのテレビ」に関連した展示を、18号館メディアラボ前ロビーにて行います。(14日 10:30-15:30)

5月15日(月)

www.mjftokyo.or.jp

日仏会館601会議室

討議 日仏「テレビ分析の最前線」(日本語/フランス語 同時通訳付) Analyse de l'image télévisuelle : confrontation Japon-France

パネリスト フランソワ・ジョスト François JOST(パリ第三大学)
伊藤守 ITO Mamoru(早稲田大学)
小林直毅 KOBAYASHI Naoki(県立長崎シーボルト大学)
石田英敬 ISHIDA Hidetaka(東京大学)

共催：日本記号学会、国際哲学コレージュ

JR山手線「恵比寿」駅東口下車
恵比寿ガーデンプレイス方面へ 徒歩10分

